

「主体的に、学び続ける子」 社会に出ていくのに必要な力をつけるために学び続ける子の育成をめざす

令和7年度 重点目標  
「心豊かで、主体的に学び、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成」  
○ 自ら学び 自ら考える子ども ○ なかまを大切にし 協力する子ども ○ よく働き 最後までやり抜く子ども ○ 健康で がんばりのきく子ども  
『優しい言葉遣いと自律』『Change & Challenge』

確かな学びの現状  
OBT調査結果からみると「自分で計画を立てて勉強していますか」の学習計画力、「学校で学習したことをふだんの生活の中で使う場面がないか考えていますか」の活用・応用力、「ふだんからなぜだろう、しらべてみたいなどと思うことがあるか」の課題設定力、「学んだ内容について振り返り、何ができるようになったか(自分の成長)を実感できていますか」の自己省察力が堺市平均を下回っていることに課題がみられる。児童のアンケートで、「先生はわかりやすく教えてくれる」「授業中、友達とともに学ぶことは楽しい」の肯定意見が98%、96%にも関わらず、「学校へ行くのが、楽しい」「ノートやワークシートに自分の考えや思いを書いている」の肯定意見が90%を下回っていた。そこで研修主題を『自ら学習を進めることができる子どもの育成』に設定し、授業では導入、学びの見直し、ふり返りの3つの場面に焦点化する。教職員が子どもたちを引き付ける授業づくりについて考え、児童が今までの学習から見直しや計画を立て、仲間と協力し合せて学習を進め、学習を振り返ることによって確かな学びへと深められるように取り組んでいく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認(～9月)		達成状況(年度末)	
							○成果	●課題	自己評価	
確かな学び	授業改善	様々な対話や関わり合いを通して学びを深める子どもを育成する	●「自ら学習を進めることができる子どもの育成」をめざして、授業づくりを行う。 ・ふりかえりを通して、児童の学びを見る。	「ノートやワークシートに自分の考えや思いを書いている」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」60%以上。② ・児童のノートやワークシートの記述 ・「授業中、友達とともに学ぶことは楽しい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。①⑦	学校アンケート	年度末	●1年生はひらがなを学習し終わってから少しずつ自分の考えや思いをノートに書く取り組みをしているが、上手に書ける児童はまだ少ない。地道に取り組んでいく。 ○子どもの実態に合わせて、「ペアでの話し合い」「グループでの話し合い」「うろろタイム」を使い分け、目的に応じて行っている。 △音楽の時間には、Teamsでふり返りを書き、それに対して返信し、個人目標を立てられるようにしている。	○「ノートやワークシートに自分の考えや思いを書いている」の肯定意見80%かつ「そう思う」36%。 ・「授業中、友達とともに学ぶことは楽しい」の肯定意見92%かつ「そう思う」63%以上。 △二学期末のアンケートで、人と話し合いをしたり、考えたりすることに苦手意識をもっている児童も少なくないことが分かった。今年度同様、問題把握から見直しにかけての課題設定を大切に授業づくりに取り組み、子どもたち同士でも課題を解決できるようにしていきたい。また教師と子どもとの1対1の授業にならないように確認と共有をしていくこと、授業の中で子どもたちが考えている姿に価値づけ・評価を意識しておくこと。	○「パソコンのスキルはかなり上昇している様子」 ・パワーポイントなどで学習発表をする際、どこかからの資料をコピーするだけに留まらず、内容に自分の考えを入れるように常に意識してほしい。	
			・校内全体研修を年7回と他の先生たちの指導(授業のやり方や子どもたちとの関わり方)を知ったり、学んだり、他の学級の雰囲気を感じることで、今後の自分の授業に生かすプチ参観を行う。学年会を週1回実施し、教材研究を行い、「見方・考え方の働く 深い学びのある授業」をめざして取り組む。	・研究授業後の協議会を通して、今後の授業づくりについて考えていく。 ・積極的に授業づくりに取り組み、自身の授業をふりかえる。	実践報告	各学期末	○5月の最初の全体研修会で研修の方針を示し、さらに各討議会の前に研修テーマや方針、系統を確認する。 ○研修テーマを意識して、授業づくりに取り組んだり、自身の授業をふりかえている。 ○研修で学んだことを今後の授業づくりに活かせるように、協議会での話し合いを持っている。 ○研究授業を通して「見方・考え方の働く、深い学びのある授業」を全職員が意識的に作るようとしている。 ○研究授業を行うことで、様々な意見を参考にしながら、教材研究を深めることができる。	・研究授業後の協議会を通して、今後の授業づくりについて考えていくこと、積極的に授業づくりに取り組み、自身の授業をふりかえること。 ○二学期末のアンケート結果を、来年度に向けて職員全体で共有していく。そして、学校として、授業づくりで大切にしていきたいこと①問題把握から見直しにかけての課題設定、②単元構成、③発問、④子どもたちとの確認と共有、⑤肯定的な評価・声かけを職員全員で意識できるようにしていく。	○「パソコンを使うことだけが義務にならないように」 ・話し合い活動の中で、自分の意見を言えるようになってほしい。	
			・ICTを活用した授業改善および情報活用能力の育成を図る。	・1日1回以上パソコンを活用する。⑨ ・「パソコンを使った学習はわかりやすい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。⑩	学校アンケート	年度末	○朝パソコンの電源を入れて机の横にかけ、必要に応じて使用するようになっている。 ○パソコンを使うことに興味を持っている児童が多く、意欲的に取り組んでいる。 ○子どもの発達に応じて、できるだけ毎日パソコン活用するようになっている。 ○パソコンを効果的に各教科で活用し学習できている。今後も目的をもち計画をたてて活用していく。 ○ICTのインフルエンサーを呼び、ICTを活用した授業づくりについて理解を深めた。	○「毎日1回はタブレットPCを使用している。」の肯定意見64%かつ「そう思う」26%。 ・「パソコンを使った学習はわかりやすい」の肯定意見92%かつ「そう思う」65%。 △タブレットの目的を明確にし、取り組んでいく。	○「低学年からの自主学習の取り組みは素晴らしいと思う」 ・既習学習の反復学習と自主学習の両輪で家庭学習を進めてほしい。	
学習習慣	自主・自律的に学ぶ力を育成する	★すべての教科で「わかる授業」を実感させ、学習意欲の向上を図る。  ★「家庭学習の手引き」等を基に、自主学習ノートの充実など家庭学習習慣の定着に取り組む。	・「先生は、わかりやすく教えてくれる」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。⑪  ・「宿題など家庭学習をがんばってやっている」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」75%以上。⑫	学校アンケート	年度末	○課題設定、見通しのところに力を入れ、子どもたちにとってわかる授業、分りやすい授業づくりに取り組んでいる。 ○今後子どもたちにとってわかる授業、分りやすい授業をめざしていく。 ○学習が苦手な児童には、単元学習中や単元学習後にフォローをしている。 ○具体物を用意し、わかりやすい授業を行うようになっている。	○「先生は、わかりやすく教えてくれる」の肯定意見97%かつ「そう思う」69%。 △二学期末のアンケート結果から子どもたちが「できる、できない」にとらわれていることが分かった。子どもたちの考えの過程を大切にしたり取り組んでいく。また研究授業を通して子どもたちと課題設定をどうしていくかの課題も見られたので、今後も課題設定と見直しに力を入れていく。	○「低学年からの自主学習の取り組みは素晴らしいと思う」 ・既習学習の反復学習と自主学習の両輪で家庭学習を進めてほしい。		
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚と道徳性の育成を図る	・あらゆる教育活動を通じて、自尊感情や規範意識を高める。 ・人権に関する授業参観を年間に1回行い、家庭と連携して子どもを育てる一助とする。 ・支援学級との交流を行い、違いを認め合える豊かな心を育成する。	・「自分には良いところがある」の肯定意見70%以上。⑬ ・人権に関する授業参観を年間に1回行えたか。 ・支援学級との交流を年間1回以上行えたか。	学校アンケート 実践報告	年度末	○人権に関する授業参観(各学年、日曜参観(11/9)で実施予定) ○支援学級との交流会(1年生:4月 2年生:10月 3年生:5月 4年生:10月 5年生:10月 6年生:3学期)予定通り行っている。	○「自分には良いところがある」の肯定意見86%で、目標の70%以上を達成した。 ・人権に関する授業参観を各クラス年間1回行えた。 ・支援学級との交流を各学年年間1回以上行えた。 これからも違いを認め合える豊かな心を育成し、自尊感情を高める取り組みを行ってきたい。	・学校の場に飾られた地域の皆さんへのメッセージ、とてもうれしい。『地域のいいところ冊子』作りも、とても楽しい。子どもたちが自分たちで考えた取り組みが多いためこそ、自尊感情が高まっていると思われる。	
			★いじめの未然防止と早期発見に、より適切な対応に努める。 ・いじめ防止シートに則り、いじめの早期発見や未然防止に努める。 ・新金岡小学校いじめ防止対策基本方針の改定及び、全職員への周知の徹底を行う。	・毎学期の生活アンケートを元に個人面談を行い、互いを認め合う指導を行うとともに、早期発見・早期対応を行えたか。	生活アンケート	毎学期	○1学期は予定通り実施できた。今後も継続していく。	○「自分には良いところがある」の肯定意見86%で、目標の70%以上を達成した。 ・人権に関する授業参観を各クラス年間1回行えた。 ・支援学級との交流を各学年年間1回以上行えた。 これからも違いを認め合える豊かな心を育成し、自尊感情を高める取り組みを行ってきたい。	・不登校の数を増やさないためには、初期対応が大切。休みがちになった児童に早めの対策を。 ・いじめになる前に、嫌な思いをした子への初期対応も大切。	
			・児童会やなかよし交流会や、学級会等を通じて、リーダー性や自主性を育て、自他のよさを認め合うことができるようにする。	・「児童会活動・なかよし交流会が楽しい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」75%以上。⑭	学校アンケート	年度末	○児童会やなかよし交流会の行事は予定通り実施できている。子どもたちが楽しく取り組んでいる様子も見られる。	○「児童会活動・なかよし交流会が楽しい」の肯定意見91%と目標の90%以上を達成したが、「そう思う」66%で目標の75%以上を達成できなかった。 異学年交流を通して、年上にあこがれる気持ちや、年下に優しく接する心をさらに醸成していきたい。	・外国籍の子が少なくても、国際理解教育は大切。	
体力の向上	運動に親しむ環境を整え、体力の向上と健康の維持を図る	・体育の授業をはじめ、運動の日常化を図り運動への意欲を高め、体力や運動能力の向上に努める。 ・「かけ足」や「なわとび」等を児童会や体育委員会と連携して取り組む。	・「運動することが好きだ」の肯定意見80%以上。⑮	学校アンケート	年度末	○体育大会に向けては、どの学年も積極的に楽しんで練習に取り組む姿が見られた。 ○水泳授業も、各自が自分の泳力アップに積極的に取り組んでいた。 ●6月～9月は暑い日が続き、日常的に運動に親しむことができなかった。 ○今後涼しくなるので、「かけ足」や「なわとび」を子どもたちと内容を考えながら、楽しく取り組んでいきたい。	○「運動することが好きだ」の肯定意見81%。(目標は達成できた)なわとびトライアルやかけ足朝会など全学年で取り組むことができた。今後も体力向上と、生涯を通じてスポーツに親しみ楽しさを身につけさせたい。	○「言葉数(語彙)が少ないと、自分の気持ちを正しく伝えることができず、トラブルになると思うので、語彙を増やす取り組みを。」		
		・食育や眼育を充実させ、児童の健康に対する意識を高めよう、養護教諭・栄養教諭を中心に、全教職員で取り組む。	・「早寝・早起きができる」の肯定意見75%以上。⑯ ・「給食は楽しい。」の肯定意見90%以上。⑰	学校アンケート	年度末	○子どもたちが毎日の給食を楽しみにしている。給食場前、毎日の献立についてのお話を書いてあり、TVにも毎日の献立とお話を映すことで、食材や食文化に興味を持たせている。 ○栄養教諭が各学級で食育授業を行っている。 ○養護教諭が毎月の「健康だより」を発行することで、健康に対する意識を高めている。	・「早寝・早起きができる」の肯定意見73%。(昨年度より1%上がった)これからも、家庭と連携して取り組んでいきたい。 ○「給食は楽しい。」の肯定意見93%。(全学年90%を超えている)健康は十分な睡眠とバランスのよい食事で成り立っていることを食育を通して伝えていきたい。食べることの楽しさから残食を減少させたい。	・素晴らしい成果が上がっているが、先生方は無理なさっていないか?⇒「大丈夫?」と声をかけてくれる仲間がいるので頑張っています。		
地域協働	信頼される学校 学校情報の積極的な発信を行い、地域とともに歩む学校づくりを行う	・地域人材を積極的に活用し、地域の中学の学校づくりを進める。	・ゲストティチャー等を活用した授業等を行う。 ・中学校区で連携し、情報交換や学びの共有を行う。	実践報告	年度末	○見守り隊、安全管理員さんの他にも、地域防災士さんによる防災のお話や、お話ボランティアさんによる本の読み聞かせなど、地域の方々によく学校に来ていただいている。	○「地域防災士さんによる「防災のお話」や、お話ボランティアさんによる「本の読み聞かせ」、お琴の先生による「お琴の授業」など、地域の方々にはたくさん学校に来ていただいた。 ・中学校区で連携し、毎月情報交換を行った。中学校区4校での合同研修や、授業見学も行った。 ・小学校区での幼稚園、こども園、保育園とも情報交換を年3回行い、お互いに保育見学や授業見学も行った。児童と園児の交流も実施した。以上のことを今後も継続発展させていきたい。 ・学校ホームページを毎日アップし、校報や学年だよりも毎月発行した。毎月読むのを楽しんでいる保護者もいて、うれしく思っている。 ○「学校での取組を学校だよりホームページ等でわかりやすく伝えている」の肯定意見96%。 学校のことをよりよく知ってもらい、地域に開かれた学校づくりを継続する。	○「PTAが地域行事に協力し、支えてくれている。これからも子どもたちのために、郷土愛を育ててほしい。」		
		・学校ホームページ(毎日アップ)、校報(月末発行)、学年だより(月末発行)等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	・「学校での取組を学校だよりホームページ等でわかりやすく伝えている」の肯定意見90%以上。⑰	学校アンケート	年度末	○学校ホームページを毎日アップしているが、大きな行事のある日以外の閲覧数はなかなか伸びない。 ○校報(月末発行)は、毎月地域にも届けているので、学校の様子をよく知ってもらえている。	○「早寝・早起きができる」の肯定意見73%。(昨年度より1%上がった)これからも、家庭と連携して取り組んでいきたい。 ○「給食は楽しい。」の肯定意見93%。(全学年90%を超えている)健康は十分な睡眠とバランスのよい食事で成り立っていることを食育を通して伝えていきたい。食べることの楽しさから残食を減少させたい。	○素晴らしい成果が上がっているが、先生方は無理なさっていないか?⇒「大丈夫?」と声をかけてくれる仲間がいるので頑張っています。		

校長より(年度末)  
取り組みは、ほぼ計画通りに実施できました。達成状況としては、常に高い目標に向かって取り組んでいる中、高い数値目標を設定したので、数値的には目標をクリアしていかなくても、概ね達成できたと考えています。子どもたちひとりひとりとはとても素晴らしい能力の持ち主です。各自の「長所」を理解し、『自信』を持って行動し、『自ら学び進める』児童の育成に努めたい。そのために安心・安全な環境を整え、教職員が笑顔で子どもたちを迎え入れる、『ワクワクする学校・楽しい授業づくり』を押し進め、『がんばることを楽しめる』子どもたちへと、これからも育てていきたいと思います。  
学校関係者評価者から(年度末)  
地域の我々も、子どもたちと関わる時間が長いほど、子どもたちに注意しやすい。様々な活動を学校と協力することで、子どもたちがずっと住みたくなる街づくりを進めていきたい。学校力向上プランの達成状況は、全体を通して高い。先生方の頑張りはすごいと思う。先生と子どもの関係がとてもよい。信頼して任せられる学校だと思う。